

2年生は中学校の中核学年
～学習・生活・諸活動を
充実させよう～

幹

森町立旭が丘中学校第2学年
学年通信 第7号
令和2年6月8日(月)
文責：太田 慎也(学年主任)

「働く」とは… ～旭タイムでの活動～



旭タイムでは、「働く」ことについての考えを広げたり深めたりする活動を行っています。先週までに、「働く」という言葉からイメージしたことをグループ内で共有し、職業観や勤労観について、自分なりの言葉でまとめました。そして、今の自分に向いている職業について、職業適性検査を通して客観的に分析しました。職業適性検査の結果を見て、「確かにそうかも」と納得する生徒も多かったように思います。さらに、自分の関心のある職業についての調べ学習を始めました。仕事の内容だけでなく、その職業の仕事に必要な資格などについて、主にインターネットを使って調べ、まとめています。

今後の活動として、「身近な働く大人の方にインタビューをしよう」という活動を今月末に考えています。働いている保護者や親戚などに対して、仕事内容や仕事をする上でのやりがいなどについて、生徒が直接インタビューし、働くことの意義について考えを深めることを目的としています。今年度は、新型コロナウイルスの関係で、職場体験学習を実施することができません。そのため、職業インタビューが生徒の学習の中で重要な活動となります。お手数ですが、生徒のインタビューに対して、何とぞ御協力のほど、よろしくお願いいたします。

【「働く」について考えたこと】

- ・「働く」ということは、自分にとっても自分の家族にとっても大事なことだと思う。「働く」ことはとても大変で、つらいこともあると思うが、その仕事のやりがいを見付け、自分なりに楽しめたらいいと思った。様々な職があるから、今のうちに全て決めるのではなく、色々な視野を広げていけたらいいなと思った。(内山芽依咲さん)
- ・みんなも言っていたけれど、やっぱり「働く」っていうのはお金のため、そのお金は、自分が暮らしていくため、幸せになるために必要なものだと思います。人は、何かの目標を目指して生きていくものだと思うので、人生にゴールはないけれど、将来自立して幸せになるっていうのを目指していきたいです。(佐藤美波さん)
- ・「働く」という言葉は、人のために働くという意味で、自分のため、人のために働くのだと分かりました。僕は、市や町のために「働く」があって、その「働く」があるから市や町の経済が回っているんだなと思いました。自分のための「働く」だけど、人のためにできる仕事はすごくいいなと思いました。(松下怜央さん)
- ・「働く」ということは、リスクを背負うと思います。どんな仕事だってリスクは必ずあります。でも、「働く」ということに対して幸せを感じる事が大切だと思います。幸せを感じない仕事を頑張ろうとは思いません。自分が幸せを感じられる仕事をする事が、僕はいちばん大切だと思います。(天野陽斗さん)